

[ナイン・コンティニュー]

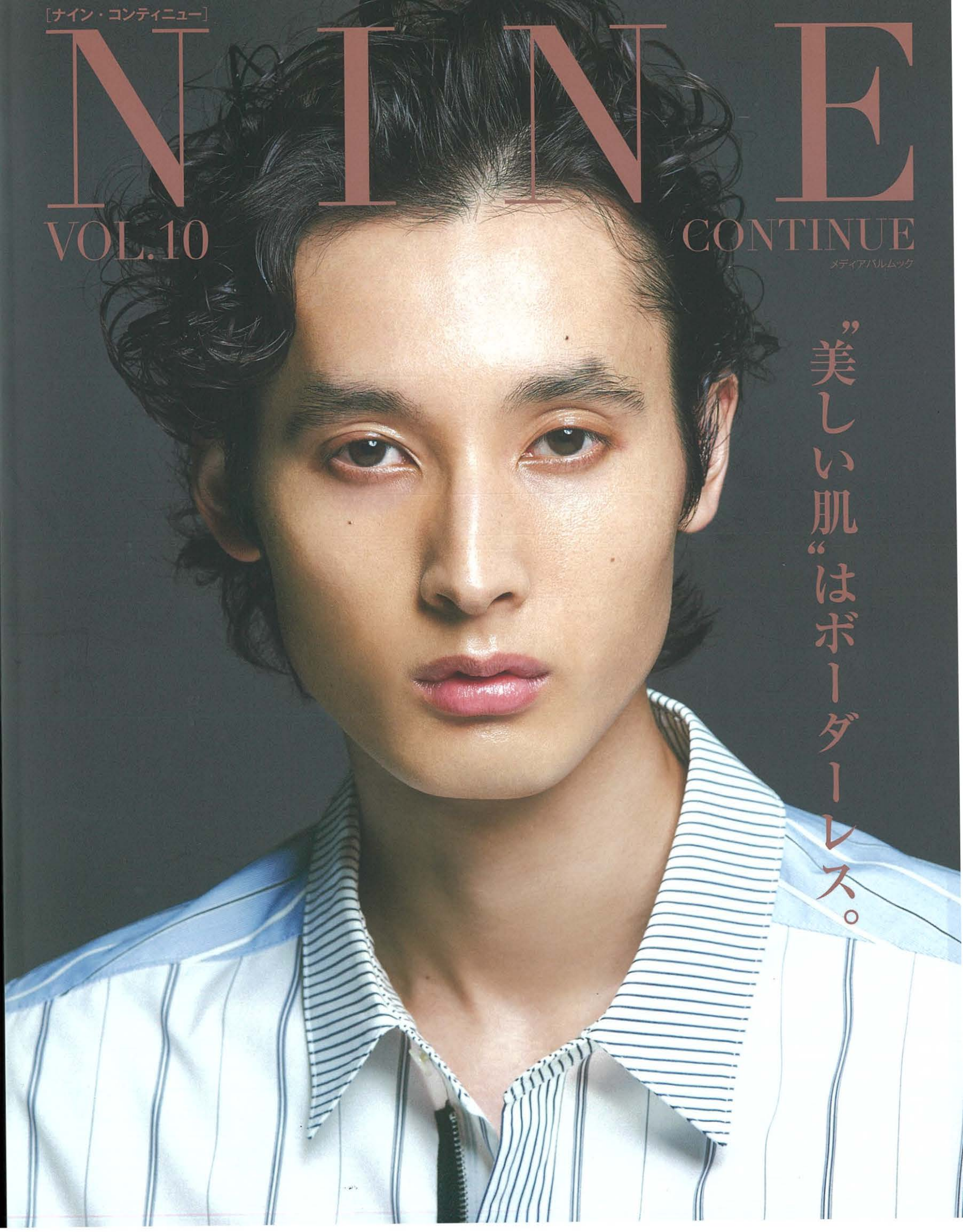
NINE

VOL.10

CONTINUE

メディアパルムック

”美しい肌“はボーダーレス。



Versatile Men



多面性男子-特別美容編-

— GUEST —

東京皮膚科・形成外科 総院長 池田欣生先生 / ニシキドアヤトさん

本誌プロデューサーYORITOMOによる好評連載9回目は、今号のメインテーマ「美肌」に合わせた特別編。日本美容医療業界の“ドクターX”こと東京皮膚科・形成外科 総院長の池田欣生先生と、錦戸亮さんのいところで、宮迫博之さんのYouTubeスタッフを務める男子力の高いニシキドアヤトさんをお招きし、美容について深掘り。

Photography : TOYOAKI MASUDA Text : SHIGERU HATANAKA

YORITOMO(以下YORI) 今回は読者も興味津々、男のブラッシュアップである美容について伺いたいと思います。池田先生は、この業界に入ってからのどのくらいになりますか？

池田 クリニックを開業して20年、その前は自分自身でアートメイクもするオシャレさんだったので(笑)、合わせたらかれこれ25年ですね。

YORI 当時の美容業界はどうでしたか？

池田 昔は今ほど流行っていないで、ごく一部の選ばれし者だけでやってる世界でした。最初の対象は、芸能人の方が多かったです。

YORI 黒目が大きいのがポイントだったり？

池田 そうですね。20年前は黒目を大きく見せるために二重まぶたにして、つけまつげをバンバン付けて……。つけまつげ自体をつくることもしましたよ。

YORI そうなんですね。池田先生がこの世界に入るきっかけをお伺いしてもいいですか？

池田 少し下世話な話になりますが、大学生

(大阪医科大学) だった頃、大阪の北新地で水商売のバイトをしている、日本で一番可愛いと思う女の子と出会ったんです。当時その彼女は、北新地のNO.1のホステスさんで。周りからはやっかみもあり、「整形だ!」と叩かれまくっていたんですけど、自分の中では今まで見た女性の中で、一番キレイだったんですよ。「整形でもいいじゃない。みんな何を言ってるの?」って感じでした。そこから美容の力はすごいなと思い、では(美容整形の先生で) NO.1は誰なんだ?と、医学部ならではの探究心から探し始めました。当時から高須先生はもちろんすごかったのですが、有名なNO.1と腕のNO.1は違うのかなど。やっぱり腕の方のNO.1に憧れましたね。

YORI ドラマチックです。でも、先生の競争心が激しくなりましたよね。

池田 正直今もですが、美容業界って何だかんだ顔がいい先生の人気が高い。患者さんも

どうせお金を出すならカッコいい先生の方がいいですからね。今、イケメンの先生が増えているのも理解できます。

YORI 今時の女の子は、イケメン先生の顔をチェックしながら整形の技術も確認してそう。

池田 自分の最初の夢が《世界一の美女をつくること》だったので、自分はいくらでも腕にこだわりました。なので、そのキレイだと思ったホステスの女の子に主治医の先生を紹介してもらい、自分の師匠になっていただき。どんな技術を使うのかを、そこで学びました。

YORI 池田先生はまさに探検家だなど。美容業界の探索すべき余地が残されている未知の領域を、常に開拓されていますよね。いつもヒントはどこから得ていますか？

池田 知らないことへの探究心、そして体験ですかね。大学病院で働き始めた当時、素晴らしい教授がいたのですが、眼瞼手術の術後の経過が思わしくなく泣いている女の子がい

て、一晩寄り添ったことがあったんです。神様みたいな凄腕の先生でさえ、こんな事象が起きるなんて。自分ももっといいプロになってやろうと思った最初の出来事でした。

YORI 《わたし失敗しないので》と、まさに美容業界のドクターXですね。“池田先生に「整形したでしょ」と言われる整形は失敗、「キレイになったね」と言われる整形が成功」という言葉を思い出しました。海外からも、池田先生ご指名で来日する患者様がいるのも納得です。

池田 幸い大学病院ではそれなりの地位にいたので、切開の上手な先生の元へ見に行かせてもらったり、様々な所に勉強しに行きました。当時の美容形成外科の2大巨頭と言われる両先生から学べたのも大きかったですね。

YORI この25年間、日々の技術進歩はあると思いますが、ここが今の美容ブームをつくるターニングポイントだった、みたいなモノはありますか？

池田 どうでしょう、私はメンタル的な美容も好きなんです。例えば、「これが気になって眠れない」「人に見られるのが怖い」という女性の悩みに寄り添って、解決に導いてあげる。それで言うと、日本に限らず世界共通で第1位の美容の悩みは、“髪の毛”なんです。だから男性のヘア特集は人気なんですよね！（一同驚嘆）

YORI 髪の毛なんです。目じゃないんだ。

池田 僕らの時も、18～19歳ってヘアスタイルが重要だったけど、ニシキド君は気にならなかった？

ニシキド 高校卒業してから家電量販店に勤めていて、接客業だったので気になりましたね。高校時代のままのチャラいヘアじゃダメだし、社会人としての身だしなみの最低ラインも必要だし。結局ギリギリを攻めていました（笑）。

YORI ちなみに第2位は何だったんですか？

池田 第2位は“肌”です。これも世界共通です。でも髪の毛科という医学はないので、美容室に行くのでしょうか。顔は自分で洗うけど、髪の毛は美容室に切りに行ったり、セットしに行く。

YORI 考えてみたら、確かに面白いですね。“髪の毛”なのに、“美容”室って！今まで当たり前前のワードとして捉えていたけど、髪をいじるのになぜ美容室なのか。これは目からウロコじゃないけど、先生がおっしゃっていたようなルーツがあるんですね。

池田 1位と2位は世界共通言語。第3位からは国によって分かります。日本は“目”になり、アメリカは“鼻”になります。

YORI 西洋の方はもともと目が大きいですもんね。

池田 逆に西洋人は鼻が高い分、形がよくない人も多いです。僕らが見ている西洋のタ

“ずっと心も身体もキレイでいることが大切です。それはみんなで共通意識として持てると思いますよ”

——— 池田欣生先生

レントさんは鼻のキレイな人ばかり。旅行に行ったらそういう鼻の方を見かけるので、やっぱり気になるんでしょうね。

YORI 生活によって肌質も髪質も変わるのは周知の通りで、池田先生のクリニックにいらっしゃる方は基本的に美意識の高い方が多いと思いますが、共通して皆さんが気にされていることに関して、何か統計はありますか？

池田 僕自身はアンチエイジングに重きを置いています。40代、50代でも美しさを保っている人が多いです。もちろん20歳くらいの時ってみんなキレイでカッコいいんですが、メンタルが病んでいる人は、50代までのペースで落ちていくんですね。

YORI やっぱりメンタルって大事ですね。

池田 若返りの見地から言うと太ったり痩せたりを繰り返している人も良くないですね。太ったら将来残るハズの細胞から死んでいき、痩せたら将来減るところの細胞から痩せていくんです。目の周りがくぼんで頭蓋骨みたいになり、二重アゴになっている人は、メンタル系をやられている人が多いですね。太っても痩せたらいいやって思っている人はダメなんです。ずっと心も身体もキレイでいることが大切です。それはみんなで共通意識として持てると思いますよ。

YORI なるほど。でも美容というフックからメンタルケアにつながるの、結構有効です

よね。ところで、院長室って重厚な装置も置いてあり、完全にラボですね。ちなみに、これはどういう装置ですか？

池田 例えば YORIさんがスポーツをしたとして、事前に血液検査をしておけば、そのスポーツにより自分の身体が若返ったのか、歳を取ったかがわかる装置です。

YORI すごい！誰でも受けられるんですか？

池田 まだメニュー化していないんです。金額がつけられない。元々自分の趣味なので（笑）。スポーツ以外でも分かりますよ。サウナに行って身体が若返ったのか、それとも老けたのか。どのスポーツや身体のケアが自分に向いているのか、いないのかが判明します。

ニシキド でも、サウナは今ブームですよ。若い人が増えています。六本木に、チームラボさんがプロデュースした新感覚の幻想的なサウナもオープンしましたし。

YORI 週に何回くらい通っていますか？

ニシキド 週に1、2回は行っています！

YORI 実は自分も昨日、茅ヶ崎にあるサウナホテルに泊まりましたよ。おかげさまで今日は身体が大変軽いです。

池田 確かに、サウナは汗をかくから代謝にいいですよ。身体に溜まっている老廃物も出ていき、ひとりで物事を考えたりすることもできたり。

ニシキド サウナにはスマホを持ち込めない



ので、サウナに入っている1~2時間だけでもスマホから離れられるのは、リラックスできていいのですね。

YORI そうですよ。さて、今号は美肌特集ということで、プロの目線から見たスキンケアの極意をお伺いしたいです！

池田 顔の洗いを誰に教わったか。なんとなくとか、小さい頃に母親からとか。きちんと学んだ記憶がある人の方が意外と少ないと思うのですが、実は間違った洗顔の仕方をしている人が多いです。

YORI 池田先生流の洗顔はありますか？

池田 池田流というワケではないですが、歳を取るといろいろな靱帯が弱くなります。特に目の周りをゴシゴシ洗顔する人は老化が早くなりますね。顔靱帯が緩んじやうんです。

YORI 良い洗顔方法を教えてください！

池田 自分のやっていることは異常なくらいですよ(笑)。オススメできない。

YORI なおさら知りたい。ぜひ教えてください。

池田 自分は歯髄(歯の神経)の幹細胞の上清液で洗っています。肌だけではなく、老眼防止にも効きます。老眼になったら手術にも響くので、まあカッコ良く言えば患者さんの為にもやっています(笑)。

YORI 歯髄！目に近いからいいのですか？

池田 きちんとしたデータもあり、いろいろなところに効きます。自分は特に髪の毛かな。そのおかげで白髪がないんですよ。

YORI 最近、美容業界では幹細胞というキーワードをよく聞きますが、簡単に言えばどういうものでしょう。

池田 転んでケガをすると、血小板がシグナルを出し、その周りの眠っている幹細胞が分裂をはじめてケガを治します。その自然治癒能力がある細胞のこと。ただ、顔のお肌ってそんなにケガしないじゃないですか。赤ちゃんっ

て肌がキレイで毛穴がない。でも思春期になるとニキビができて、老化すると毛穴が目立つようになる。美肌を保つのは年齢差もあるし、一括りにはできない難しさはありますね。

YORI 人それぞれに合った、オリジナルのケアが必要ということですよ。

池田 高校生、20代、30代、40代、50代と指導するケアは変わります。NINEの読者は若い男性が多いと思いますが、お肌で大事なのはストレスフリーです。でも、実際には難しいので【ストレスはあるけど、美肌】を目指します。治療に特化するのであれば、クリニックに来ていただければできます。例えば、ニキビは顔の皮脂腺をすべて焼いてしまえば二度とできません。そういう治療もやっていますし、それとは違う施術をするなら、それこそストレスが溜まると脂が出やすくなるので、その脂をピーリング石鹸(※池田先生プロデュース。クリニックで10年間のベストセラー)で洗い流す方法もあります。クリニックに来たらOK、ではなく歯磨きのように毎日のケアも大事です。

YORI 歯は毎日磨くのに、なぜ肌は磨かないのかということですね。

池田 使う薬剤に関して、昔に比べて保険適応もできるモノがずいぶん増えています。ただ肌のトラブルは治療に時間がかかるもの。病院に行って、薬で一撃で治せると思っているなら、それは間違いです。なぜ肌のトラブルが起こったのか。今まで使っていなかった新しい化粧品を使ったのか、洗顔をさぼっていたからなのか。クリニックに行く前に、その原因を自分なりに分析して、まずは市販の薬などを使って自分で治してみるのもあり。自分の肌は、自分が一番分かるので。

YORI 本当の主治医は自分、ですね。

池田 また、毎日肌に使うものはある程度、

良いものを使って下さい。高ければいいというワケではありませんが、あまりにも安いものを毎日使うと、結局別の治療などに費用がかかり、かえって高くなります。もちろん肌がキレイなままならそれで大丈夫ですが、肌で悩んでいるなら、そこにもこだわってみてほしいですね。

YORI どうしても自分で悩みが解決しない人は、まずはカウセリングだけでも行って悩みを聞いてもらって下さい。ニシキド君は洗顔、どうしてる？

ニシキド 高校時代は美容には無頓着でニキビだらけでした。メンズ洗顔料を泡立てないで使っていたくらいです(笑)。先ほど、誰に洗顔を習ったかという話があったと思うのですが、僕はアニメが好きで、『極上!!めっちゃモテ委員長』からノウハウを習ったんですよ。

池田 今はアニメから学ぶ人も多そうだね！終わりに、食についても少し話を。食べ物は本当に大事で、健康に直結しています。わかりやすく言うと、臭い便をしている人はアウト。身体に悪いものが溜まっている証拠。栄養バランスが取れた食生活をしている人は臭わない。抗酸化物質が多く摂れる緑黄色野菜(パプリカ、パセリ、ブロッコリー)やフルーツを多く摂取してみてください。

YORI 気を付けよう……！最後に、読者にメッセージをお願いします！

ニシキド 今日は勉強になりました。自分も美容にもこだわっていきますので、一緒に頑張りましょう。

池田 イケてる経営者や仕事ができるビジネスマンはみんな清潔感があり、美容にもこだわっています。ぜひ、みなさんも美容に目を向け、素敵なお人を目指しましょう。クリニックにも勇気を出して行ってみてくださいね。

東京皮膚科・形成外科 銀座院



池田先生が総院長を務め、学会に認定された専門医のみが診療を行う安心・安全なクリニック。高い技術力はもちろん、より良い手術を追求するため世界一細い針・針エンジェールドル、世界一先端が細い手術用目頭鑷子、Gコグスレッドなども開発。数多くのセレブが足しげく通う人気のクリニックだ。

Information

東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座3F
TEL/03-3545-8000
受付時間<初診>/11:00~12:15、18:00~19:15
休診日/年末年始・学会活動により不定期
URL/www.251901.net



Profile

YORITOMO

1971年8月5日生まれ。東京都出身。コンサル業務など実業家として活躍。本誌プロデューサーをはじめ2019年日本ソムリエ協会常務、「ジャパン シャンパーニュ・オブ・ザ・イヤー」予選委員長を務める。



Profile

ニシキドアヤト

1991年2月14日生まれ。大阪府出身。30歳の検察の申し子。フリーのWEBライターで活動する傍ら宮迫博之さんのYouTube「宮迫ですッ!」のスタッフも務める。錦戸亮さんの実のいとことしても話題。



Profile

池田欣生

東京皮膚科・形成外科 総院長。無痛でダウンタイムが少ない手術で人気に。日本アンチエイジング外科学会会長他を歴任。2020年、女性誌「美st」の読者が選ぶ美容医師に3年連続日本一で殿堂入りを果たす。